

ピース・ウイング長崎 会報

へんりゃ

132号

■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 「長崎国際平和映画フォーラム 2011」の報告
- 「被爆体験記朗読会」のお知らせ
- 国際交流部会「外国人と市民の集い」の報告
- 長崎市市民活動センター「ランタナ」の利用について
- NHKアナウンサーによる被爆体験記朗読音声の祈念館内での公開について
- TOPICS (被爆者健康講話、賛助会員紹介)
- 八名信夫氏講演会のお知らせ
- 「市民対象碑めぐり」の報告



10月16日開催の市民対象碑めぐりの様子
(主催：継承部会慰霊碑巡り班 場所：穴弘法奥之院霊泉寺)

祈念館主催

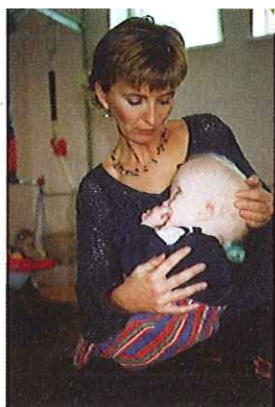
『長崎国際平和映画フォーラム2011』が開催されました。

2度目の開催！
来場者倍増！

去る10月29日（土）、30日（日）、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（祈念館）主催の「長崎国際平和映画フォーラム2011」が開催されました。

今回は昨年に引き続き2回目の開催となりましたが、あいにくの雨天にもかかわらず両日ともたくさんの方にお越しいただき、来場者数は前回の約2倍の延べ1,300名となりました。

会場となった原爆資料館ホールでは、巨匠新藤兼人監督の「原爆の子」や今村昌平監督の「黒い雨」、チェルノブイリ原発事故による放射線の影響について取材したマリアン・デレオ監督の話題作「チェルノブイリ・ハート」（アカデミー賞（短編ドキュメンタリー部門）受賞作品）など合計10作品を上映しました。



映画「チェルノブイリ・ハート」の一場面



映画「原爆の子」の一場面

そのほか、青少年ピースボランティアの方による吉田勝二さんの紙芝居上演、歌手Yaeさんによるトーク&ミニコンサートが行われました。



Yaeさんによるトーク&ミニコンサートの様子

もう一つの会場である祈念館交流ラウンジでは、地元民放テレビ局が制作した原爆・平和に関するドキュメンタリー番組の放映や同テレビ局の関係者によるトークイ



テレビ局関係者によるトークイベント

ベント、最初の長崎平和特派員のタナカ有美さんの報告会、被爆体験記朗読・紙芝居会（詳細は当会報の5頁に掲載）、さらにはマリアン・デレオ監督との意見交換会が行われました。

中には全10作品をご覧になった方もおられ、また、前述のトークイベントや意見交換会では積極的な質疑応答が行われるなど、どのプログラムも充実したものでなりました。



タナカ有美さんの長崎平和特派員報告会



マリアン・デレオ監督との意見交換会

来場の皆さまにはこの平和映画フォーラムについてアンケートをさせていただきましたが、回答されたほとんどの方（135名中127名）に「来年以降も続けてほしい」との高い評価をいただきました。一方、「PRにもっと力を入れて長崎全体に広がりを持たせるべきだ」、「両会場のプログラムが時間的に重なって一方しか参加できなかった。スケジュールの設定について工夫をすべきだ」などの貴重なご意見もいただきました。

祈念館としましては、これらを踏まえて、来年以降さらに充実した平和映画フォーラムにしていきたいと考えていますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

なお、今回の平和映画フォーラムにおいては、プロデュース面で東京の制作会社（有）タキシーズの稲塚秀孝さん、広報・運営面で長崎新社会人ネットワークの皆さんにご尽力いただきました。この場を借りまして感謝申し上げます。（※国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館は、公益財団法人長崎平和推進協会が管理運営を受託しています。）

10月29日（土）に開催予定でした「市民のつどい」については、雨天のため中止いたしました。

今回ご協力いただいた、長崎新社会人ネットワーク幹事の永吉由加子さんに感想文を寄稿していただきました。

「長崎国際平和映画フォーラム2011に参加して」

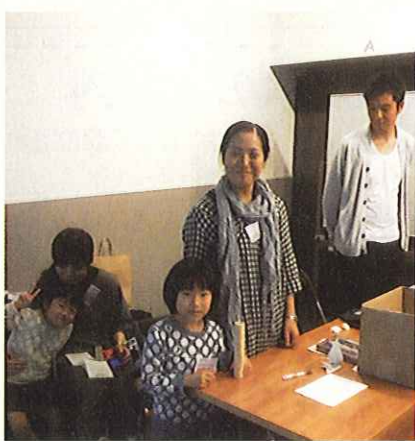
永吉 由加子

「長崎国際平和映画フォーラム2011」に、広報面、運営面で参加させていただきました。昨年は主に運営面での参加でしたが、今年は長崎県美術館でのプレ上映会や、オリジナルエコバッグの作



成・配布など、多くの方にフォーラムを知ってもらうための新しい取り組みも行いました。プレ上映

会は告知がうまくいかず、大盛況とは言えませんでした。街中に飛び出していく試みとして大変意義がありましたし、今回の結果をしっかりと受け止め、次に活かしていきたいと思えます。フォーラムでは2日間でのべ21名の当会メンバーが、会場設営や受付、DVD操作などを行いました。ご来場者様からたくさん温かいお声をおかけいただき、また、メンバーから「参加してよかった」と言ってもらい、私たち若者が平和に関する催しや活動に参加する意味、重要性を再認識する機会となりました。今後もメンバーはもちろん、若者が参加したくなる仕組みを考え、取り組みたいと思います。ありがとうございました。



八名信夫氏 講演会

にぎりめしひとつ この平和を大切にしたい



八名氏は1935年に岡山市に生まれ、第二次世界大戦のさなかに幼少期を過ごしました。

戦後、明治大学へ入学、プロ野球の西鉄フライヤーズで投手として活躍しましたが、怪我により引退しました。その後、親会社である東映から誘いがあり、映画俳優へ転職し、現在に至るまで悪役として活躍されております。

戦中生まれであり、戦争体験をお持ちであるのみならず特異な経歴をお持ちである八名氏に戦争とは何か、また戦後の混乱期を生き抜いてきた経験をお話し頂くことにより、平和の尊さを私たちが改めて考える良い機会に、なるものと期待しています。

日時：平成24年2月18日（土）
午後1時30分～午後3時（12時30分開場）

場所：長崎市平和会館ホール（長崎市平野町7-8）

入場料：無料（別途応募が必要となります。）

応募方法：「郵便番号」「住所」「氏名」「電話番号」および協会会員の方は「会員」とご記入のうえ、下記まで郵便ハガキでお申し込みください。

〒852-8117 長崎市平野町7-8
(公財)長崎平和推進協会「講演会係」宛

※おひとり様につき1枚の応募となります。協会会員の方に限り1通で2名様応募できます。（2名入場をご希望の方は「2名」とお書きください。）

応募締切：平成24年1月28日（土）消印有効

※応募者多数の場合は会員優先のうえ、抽選となります。

一緒に平和の輪を広げませんか？ 会員加入のご案内

長崎平和推進協会は「核兵器廃絶と世界恒久平和」を目指して昭和58年に官民一体となって設立されました。

被爆体験と平和の尊さを次の世代に伝える「被爆体験講話」や原爆資料館や被爆遺構を案内する「平和案内人」の派遣、祈念館の運営など平和に関するさまざまな活動をしています。

くわしいパンフレットをご用意していますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先：(公財)長崎平和推進協会 長崎市平野町7-8
電話(095)844-9922（平日午前9時～午後5時）
E-mail info@peace-wing-n.or.jp



被爆体験記朗読事業がスタートしました!

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（祈念館）では、朗読を通じ市民のみなさんの被爆体験継承に対する意識を高め、被爆体験を効果的に語り継いでいくために、今年度より新規事業として被爆体験記朗読事業を実施することにしました。また、本事業は当館が収集した被爆体験記等の資料を有効に活用していくという側面においても大変有意義です。

平成23年度は、被爆体験記朗読に対する認知度向上の年と位置づけ、今回、第1回目の朗読会を「長崎国際平和映画フォーラム2011」の中で実施しました。来年度以降は今年度の取り組みを基礎として朗読ボランティア育成のための講座を開催することとしています。将来的には当該ボランティアの派遣事業の実施も予定しております。

また、第2回目の被爆体験記朗読会を、平成24年1月29日（日）に、祈念館の交流ラウンジにて下記のとおり予定しており、朗読会の最後には育成講座についてのお知らせなども致します。皆様のご来場お待ちしております。

第2回 被爆体験記朗読会のお知らせ

日 時：平成24年1月29日（日） 13:00～15:00

場 所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ（地下2階）

入 場：無料

内 容：被爆体験記や原爆詩等の朗読、ハンドベル演奏、音楽をまじえた朗読 等

参加者：活水高等学校ハンドベル部、長崎県立長崎西高等学校放送部、ながさき「水の会」&聖マリア学院音楽クラブ「SCORE」、ピースバトン・ナガサキ、被爆体験記朗読ボランティア（広島祈念館）(50音順)

お問い合わせ：祈念館（095）814-0055

第1回 被爆体験記朗読・紙芝居会 in NIPFF

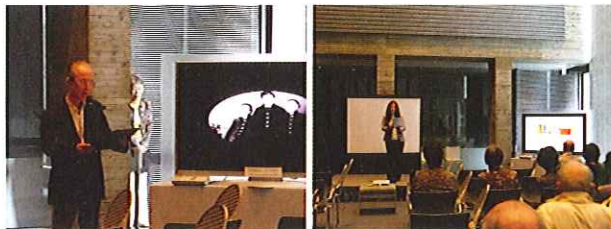
平成23年10月30日、「被爆体験記朗読・紙芝居会 in NIPFF」と題した朗読会を、長崎国際平和映画フォーラムのプログラムの一環として、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の交流ラウンジで行いました。

トップバッターは朗読グループのピースバトン・ナガサキの皆さん。2台のモニターに映像を投影しながら、手記（萩野美智子）『原子雲の下に生きて』、生ましめん哉－原子爆弾秘話－（栗原貞子）『ヒロシマというとき』、写真の中の友（峡草夫）『芽だち』、慟哭（山田数子）『日本原爆詩集』、千本桜『長崎の花 上』の5編の朗読を行って頂きました。（写真左上）

つづいて、長崎平和特派員のタナカ有美さんが9.11についての絵本『The Little Chapel That Stood』を英語で朗読されました。（写真右上）

また、滑石中学校の生徒さんが、山口彊さんの『キノコ雲に追いかけて～二重被爆～』、松添博さんの『ふりそでの少女』の紙芝居を披露されました。（写真左下）

最後に、NHK アナウンサーの塩屋紀克さんが登場し、平和祈念像の前で『ヒバクシャからの手紙』を朗読された際のVTRを流した後、朗読についての心構えやラジオでの朗読の取り組み等を話され、実際に田口道子さんの『被爆者の叫び』の朗読をして頂きました。最後の質疑応答では、会場からの質問等にご自身の経験や考えを実直に述べられました。（写真右下）



国際交流部会主催で『外国人と市民の集い』を開催

去る11月26日(土)に原爆資料館平和学習室で国際交流部会の主催により「外国人と市民の集い」を開催しました。

今回25回目と歴史のある催しですが、当日は、まず長崎に在住する外国人5名からそれぞれのテーマについてスピーチしてもらい、それをもとに来場の市民約30名との間で質疑応答を行いました。



スピーチの様子

ベトナム出身のチャ・ティ・フォン・ガーさんは、ベトナムと日本の古くからの友好的な関係について紹介する中で3月の大震災に触れながら「雨が降れば傘をさしてあげる思いやりの心、他の人達のための傘になる心を持ちたい」と語り、とても印象的でした。

また、オーストラリア出身のスチュアート・バートレットさんは、通っていたアメリカのカレッジで様々な国の学生と触れ合い、漠然と恐怖心を持っていたイスラム圏の人たちとも友達になった経験から、知らないことが恐怖を生むということがよくわかったと語りました。

スピーチ終了後の質疑応答では会場から積極的な質問がなされましたが、引き続き行われた懇親会でも話題は尽きず、皆さん終了時間ぎりぎりまで議論に花を咲かせていました。



集いに参加して下さったみなさん

長崎市市民活動センター

「ランタナ」が利用できます！

長崎平和推進協会は、長崎市市民活動センター「ランタナ」に団体登録しています。

ランタナでは、会議室や印刷機等のある作業スペースを利用することができ、各部会活動や平和案内人自主活動等に活用ください。

施設・設備の利用については、有料の場合もありますので詳しくは、市民活動センターホームページ (<http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/shiminkyoudo/center.html>) でご確認ください。



会議室(定員20名)



作業スペース



ランタナ案内図

情報ラックの利用について

長崎市市民活動センターが管理する情報ラックが、

- 市役所市民課待合所
- 市民会館2階ロビー
- 男女共同参画推進センター「アマランス」
- 市立図書館1階ロビー

● 市民活動センター「ランタナ」の市内5か所に設置されており、登録団体が開催する催し物のチラシ等の配布にご利用いただけます。各部会や平和案内人自主活動等の催し物のお知らせにご利用ください。

なお、情報ラックの利用申込みは、協会事務局にて行いますので、利用を希望される場合は、情報ラック利用希望月の**前月15日まで**に配布物1部を協会事務局までお持ちください。

※設置期間は原則1カ月となっております。



情報ラック

市民対象碑めぐりを行いました

10月16日(日)、継承部会慰霊碑巡り班主催による「市民対象碑めぐり」を行いました。

当日は天気にも恵まれ、参加した市民約50名とともに、長崎市坂本町周辺にある「原爆死」と刻まれた数々の墓石や爆風で倒壊した東家の墓所などが並ぶ経の峰墓地、助けを求めて多くの負傷者が避難



した穴弘法寺、爆風で蓮座からずれた大日如来像や巨岩などが残る霊泉寺を巡りました。

また、穴弘法寺では、実際に8月9日の夜に避難してきた被爆者や、お寺のお坊さんからの話をお聞きすることが出来ました。その



場所に立って体験談を聞くことで、66年前のあの日を体験出来たのではないかと思います。

今回はゆっくりと見学する時間があったため、参加者たちは経の峰墓地の墓石に刻まれたお名前や、穴弘法寺・霊泉寺内のお地藏様、平和祈念式典での献水の採水場所などを思い思いに見学していました。

参加者からは、「こんな急な坂道を、大怪我をした人たちが避難してきたのか」「なかなか来る機会がない場所なので、今回参加出来る良かった」などの感想が寄せられました。

少しの間、耳をかたむけてみてください

昨年に引き続き、平成23年の7月から8月にかけてNHKラジオで放送された「ナガサキ 被爆の記憶」18編が、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館(祈念館)の閲覧室で聴取できるようになりました。

これは、10月30日に実施された朗読会(詳細は、当会報の5頁に掲載)にも御出演いただいたNHK長崎放送局の塩屋アナウンサーが中心となり、同館に収蔵されている体験記の中から、同局のアナウンサーの方々が自ら読み選び、朗読を行っているものです。

祈念館には、昨年の31編と併せて、計49編が収録されています。放送された音源そのままですので、1編が約5分とまとめられ、少しのお時間でお聴きいただくことができます。

66年前、長崎で起きたあのできごと…。被爆者の、遺された者の想いを、ぜひお聴きください。



被爆者健康講話のお知らせ

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（祈念館）では、平成23年6月から平成24年3月まで全10回にわたる「被爆者健康講話」を開催しております。

長崎大学大学院の先生方を講師に迎え、生活習慣病やこころの健康などの身の回りの健康の話などについてわかりやすく説明します。1月（第8回）から最終回の3月（第10回）までのテーマが決まりましたのでお知らせいたします。被爆者以外の方もご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。なお、ご参加いただく場合は、前日までに祈念館へご連絡ください。

記

会 場：祈念館地下1階研究室 時 間：15:00～16:00
参 加：無料 連絡先：祈念館(095)814-0055

- | | | | |
|------|----------|---------------|----------|
| 第8回 | 1月19日(木) | 老いを防ごう！体操で・・・ | 釜崎 敏彦 先生 |
| 第9回 | 2月16日(木) | 生活習慣病と栄養 | 関谷 悠以 先生 |
| 第10回 | 3月15日(木) | 転倒予防 | 河村 靖子 先生 |

賛助会員のご紹介

協会の趣旨にご賛同していただいている賛助会員のうち、企業関係をご紹介します。ご支援、まことにありがとうございます。

扇精光(株)、オリエンタルビル管理(株)、(株)親和銀行、(株)昭和堂、(有)事務機のタケダ、(株)十八銀行、日本通運(株)長崎支店、(株)藤木博英社、ホテルニュー長崎、九州労働金庫、丸美産業(株)、(有)ナカノコーポレーション、(株)インテックス、パナソニック電工エンジニアリング(株)九州支社、平和堂オフセット印刷(有)、(株)イシマル、(株)事務機のミカドヤ、(株)大和総業、(株)長崎消毒社、(株)NDKCOM、トップツアー(株)、長崎電気軌道(株)、(株)ベスト電器長崎本店、(社)長崎市シルバー人材センター、協和機電工業(株)、(一財)長崎市勤労者サービスセンター、太洋技研(株)、長崎ターミナルビル(株)、さかい酒舎、近畿日本ツーリスト(株)団体旅行事業本部カンパニー、チョコレート(株)、大成サービス(株)長崎支店、(一財)九州電気保安協会、(株)大和屋、九州印刷(株)、九州教具(株)、(株)せがわ住機、(株)エビス堂、(有)クマさんのお花屋さん、日本紙工印刷(株)、日本空調サービス(株)九州支店、長崎ダイヤモンドスタッフ(株)、(株)一広、ジョンソンコントロールズ(株)、(株)理研サービス、(株)プロダクションナップ、ダスキンレントオール長崎ステーション、オックス総合リース(有)、(株)日立ビルシステム九州支社長崎営業所、長崎自動車(株)（順不同）

会員数報告

◎維持会員	1,159名
◎賛助会員	161名
◎学生会員	13名
合計	1,333名

平成23年12月13日現在

寄付者紹介

ありがとうございます

◎匿名	六千円
◎匿名	千円
◎匿名	一万円
◎白鳥 純子	一万円
◎山脇 佳朗	十万円

(敬称略)

図書館販売コーナーより
新しく取り扱うことになった書籍
を紹介します。

「マンガで読むナガサキ」
マルモトイヅミ著
1,050円(税込)



「核兵器へのメッセージ」
土山 秀夫著
1,050円(税込)



本紙は再生紙を使用しています。

平成二十三年十二月三十一日発行
印刷 株式会社 藤木博英社